看護研究入門

責任者・コーディネー	-ター	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授				
担当講座・学科(分野) 地域包括ケア講座、共通基盤看護学講座						
対象学年		2				
期間		前期	区分・時間数	講義	12 時間	
単位数		1 単位				

· 学習方針(講義概要等)

エビデンスに基づいた看護ケアを学ぶ上で必要となる看護研究論文を読むために必須な文献講読の基礎的能力を身に付け、併せて研究のプロセスを理解することを目的に看護研究の基礎を学ぶ。また、看護研究論文を実際に読みこなすことで、研究目的とそれを明らかにする方法、さらに結果の解釈から考察を読み解き、看護研究の必要性と可能性について学びを深める。

・教育成果(アウトカム)

看護研究の目的や役割を理解し、看護学領域で用いられる主な研究方法の基礎知識を修得する。また、実際の看護研究論文をもとに学修することで具体的な研究手法を身につけ、今後の自己の研究課題に取り組むイメージをもつことができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー:1,2,3

·到達目標(SBO)

- 1. 看護研究の役割・意義について理解できる
- 2. 看護研究の種類を理解できる
- 3. 文献検索の方法を習得し看護研究論文の講読ができる
- 4. 看護研究における代表的な研究的手法について理解できる

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/11	月	3	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授	看護研究の目的・役割・研究疑問および研究倫理 ・看護研究の意義と必要性を理解である。を理解できる・看護の姿質問を生むためででの倫理的問題ができる・看護の姿勢できる・電影でである。では、第一次を関することでののあるでは、第一次ののののでは、第一次ののののでは、第一次のののののでは、第一次ののののでは、第一次ののののでは、第一次のののでは、第一次のののでは、第一次のののでは、第一次のののでは、第一次のののでは、第一次のののでは、第一次のののでは、第一次のののでは、第一次のののでは、第一次のののでは、第一次のでは、第一次のでは、第一次ののでは、第一次ので
4/18	月	4	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授	研究デザインの種類と特徴 ・量的研究方法の基礎的な知識を修得することができる・質的研究方法の基礎的な知識を修得することができる 【事前学修】 研究疑問と研究デザインの関係についてまとめておく(30分) 【事後学修】 量的研究、質的研究の方法の概要をまとめる(30分)

4/25	月	4	共通基盤看護学講座	佐藤 奈美枝	特任准教授	文献検索の方法と文献レビュー ・研究論文を検索することができる・研究論文の価値を見極めるためのクリティークの視点がわかる 【事前学修】 関心のあるテーマを絞り込み「テーマの何に、どのように」疑問があるか明確にしておく 【事後学修】 指定された keyword の看護研究を検索し、簡単な 文献カードの作成を行う(60分)
5/10	火	3	共通基盤看護学講座	佐藤 奈美枝	特任准教授	研究論文の構成① 質的研究 ・質的な研究論文を構成する各項目・要素について理解できる 【事前学修】 教科書の該当ページを熟読しておく(30分) 【事後学修】 関心のある質的な看護研究1編を検索し、簡単な文献カードを作成する(60分)
5/11	水	1	地域包括ケア講座	野里同	准教授	研究論文の構成② 量的研究 ・量的な研究論文を構成する各項目・要素について理解できる 【事前学修】 教科書の該当ページを熟読しておく(30分) 【事後学修】 関心のある量的な看護研究1編を検索し、簡単な文献カードを作成する(60分)

5/18	水	5	地域包括ケア講座	野里 同 准教授	統計的手法を用いた分析 ・看護研究でよく用いられる統計的 検定法の基本的知識を修得することができる 【事前学修】 「情報科学」で学んだ統計解析について復習しておく(30分) 【事後学修】 量的研究論文の統計検定をよく読み、検定法及び結果が説明できるようにまとめる(60分)
5/30	月	4	地域包括ケア講座地域包括ケア講座 共通基盤看護学講座	遠藤 太 教授 野里 同 准教授 佐藤 奈美枝 特任准教授	看護研究論文のクリティーク① ・看護研究論文を読み、論文構成ならびに内容をクリティークすることができる 【事前学修】 これまでの既習内容を復習しておく(30分) 【事後学修】 4/25の事後学修で「関心のあるテーマの明確化」を行った研究疑問に近接した看護研究論文1編を熟読し、クリティークを行う(60分)
6/6	月	4	地域包括ケア講座地域包括ケア講座共通基盤看護学講座	遠藤 太 教授 野里 同 准教授 佐藤 奈美枝 特任准教授	看護研究論文のクリティーク② ・看護研究論文を読み、論文構成並びに内容をクリティークすることができる 【事前学修】 これまでの既習内容を復習しておく(30分) 【事後学修】 前回の授業で行ったクリティークを完成させる(60分)

・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	かんたん看護研究	 桂 敏樹 星野明子(著) 	南江堂	2020
推	文献レビューのきほん - 看護研 究・看護実践の質を高める	大木秀一(著)	医歯薬出版	2016

·成績評価方法

事前・事後学修及び講義内で作成した「研究疑問」「文献カード」「クリティーク」を合計し、100%として評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

- ・シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・レジメ等を用いて事前、事後学修(予習または復習)を必ず行うこと
- ・上記の事前学修は全ての授業に該当するものであり、各授業に対する事前学修時間は 30 分~60 分を要する

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・授業中に課す課題等については、次回の講義で解説する。
- ・講義日程上短期間であるため適宜 WebClass にて情報発信および学生に対する情報共有をはかり、 双方向の理解を深める。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):統合分野 看護の統合と実践

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影